



補足 6 続き

校正中、GP400 コントロールモジュールは正常な校正を妨げる不具合がないか繰り返しチェックします。不具合が検知された場合、エラーメッセージが直ちに点滅表示され校正は終了します。不具合が解決されると校正が再開されます。
大半の校正エラーメッセージには、トラブルシューティングの説明と“Fxx”ナンバーが表示されます。

F01:CANNOT RUN

EZlift 230 の運転を妨げる不具合が起きています。ヘルプメッセージ(ラインコンタクタ、バルブ、モーター配線のエラーなどの原因)を確認してください。

F02:NOT GROUND MODE

校正はグラウンドコントロールからのみ行えます!

F03:NOT STOPPED

校正開始時マシンを動かさないでください。

F04:TILTED

校正開始時マシンを平らな面に置いてください。

F06:TOO HIGH

校正開始時プラットフォームは完全に下げてください。

F29:BAD CELL#x

校正開始前にロードセルに不具合があります。

F50:BAD CELL#x

無積載時のロードセル電圧が、積載時の電圧より高くなっています。ロードセルの配線が逆になっています。

F51:BAD CELL#x

積載時と無積載時のロードセル電圧値の差が小さく、プラットフォームの推定荷重値を十分な信頼性をもって計算できません。

F52:NOT CALIBRATED!

校正が NG になる何らかの不具合が起きています。すべてのセンサーの配線のゆるみを確認しもう一度校正を行ってください。



補足 6 続き

F53:BAD CELL#x

無積載時のロードセル電圧値が範囲外 (低すぎ) です。

F54:BAD CELL#x

無積載時のロードセル電圧値が範囲外 (高すぎ) です。

F55:BAD CELL#x

積載時のロードセル電圧値が範囲外 (低すぎ) です。

F56:BAD CELL#x

積載時のロードセル電圧値が範囲外 (高すぎ) です。

FINISHED!

すべての校正(動的、負荷増、負荷減、エンプティアップ、エンプティダウン)が完了し CALDATE が入力されると、このディスプレイが表れます。
マシン使用の前に EZcal の<ESC>を押して校正を中止してください。

PLEASE WAIT

校正中、センサーの値が安定するまでの間、EZlift230 は遅れることがあります。
このとき、ディスプレイにはその理由を表示します。